



柏野小地域だより

柏野の輪



第8号

調布市立柏野小学校
地域学校協働本部
令和8年3月発行

柏野小学校地域協働本部からのお知らせです



6年生とご家族の皆さま、ご卒業おめでとうございます。4月からの新生活スタートを目前に、わくわくドキドキしているところでしょう。皆さんが楽しい中学校生活を送れることを願っています。

在校生の皆さん、この一年で顔つきがとてもたくましくなったと思います。来年度、笑顔あふれる新学期を支援員一同楽しみにしています。

写真は、折り紙ボランティアの皆さんが、6年生の卒業を祝って作成してくれたもので、卒業生の数の鶴が羽ばたいています。保護者の皆さんも、卒業式に行かれたら、ぜひご覧ください。

「地域学校協働本部」とは？

幅広い地域住民等の参画を得ながら「学校を核とした地域づくり」を目指すための「仕組み」で、地域全体で未来を担う子どもたちの学びや成長を支えるために、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働した様々な「地域学校協働活動」を行う組織です。

現在、柏野小の協働本部は、地域コーディネーター3名、学習支援員10名、図書ボランティア2名で、学校の支援活動をしています。

◎学習支援

- ・授業などで教員を補助
- ・放課後学習教室の実施
- ・ゲストティーチャーの招聘

◎環境整備

- ・図書室や校庭など、校内の環境整備

◎学校行事支援

- ・会場設営や運営などに関する支援



学習支援員交流会

1月28日、多目的室で交流会を開催しました。
支援員とコーディネーターが、給食をいただきながら、情報共有や授業の支援する中で感じていることなど意見交換をして、有意義なひとときとなりました。



4月の頃に比べて、肉体的にも精神的にもひと回り成長しているなあ、と実感しています。〈A〉

〈5年生の算数〉

問題を解けた児童が、まだ解けていない児童へ教え合いをしている姿がとても素敵です。〈H〉

作品発表会では、みんながそれぞれ、自分らしさを表現されていて素晴らしいと思いました。〈F〉

〈4年生・5年生の算数〉

やる気が出て来た児童もたくさんいて、活気があり、支援しているこちらも楽しいです。〈F〉

下校時に、5年生のお兄さんが1年生の妹さんを迎えに来て、荷物のチェックをし、黄色い帽子をきちんと被らせて二人で帰って行きました。5年生のお兄さんが、とても頼もしく立派でした。〈F〉

クラスがスタートしてほぼ1年、子ども同士、お互いに対する理解を深めたようで、友だちへの程よい距離感や、励まし、協力する姿をたくさん見かけています。〈K〉

子どもたちは、『やりたくない』ではなく、『わからないから、どうしていいのかわからない』なのだと思います。〈H〉

〈4年生・5年生の算数〉

かけ算九九がまだ十分ではなく、このままだと授業について行けなくなりそうなお子さんもチラホラいます。春休み中に、ご家庭でも誦読させてみてください。〈S〉

ノートの書き方は様々。書くのが面倒なのか、殴り書きで何と書いてあるか分かりにくいノート。きれいに書きたいこだわりがあって、先生の話聞くのが後回しのお子さんもいます。やる気をなくしてしまう声かけにならないように気をつけました。〈S〉

寝不足や朝ごはん抜きで登校してくる児童は、授業中に『眠い』『お腹がすいた』と、勉強に集中できていません。学校でお子様が元気いっぱい、授業にも集中できるよう、ご家庭では早寝早起き、朝ごはんという規則正しい生活リズムを習慣にしてくださいませようお願いします。〈A〉

〈4年生算数〉

なかなか問題に取りかからない児童に、やり方を教えたり、ヒントを少し与えただけで問題が解け、そこから『もっとやりたい!』と、取りかかる姿が見られました。〈H〉

『やってみよう!』と、取り組んでくれた子どもたちをすぐにほめるようにしています。〈H〉

文具忘れがあると、借りる時間などが意外にかかるので『もったいないな』と思います。忘れ物があれば、授業がもっとスムーズに進みそうです。〈K〉

午年だから馬もいるよ!



金魚の水槽 3月の飾り付け



小鳥の巣 展示しています

庭木の剪定の際に、枝の間に小鳥の巣を発見しました。

とても精巧に作られた巣に感動し、子どもたちにも見てもらいたいと、図書室入口脇の使っていない水槽を利用して展示させていただきました。



支援員・大学生募集 授業補助の活動にご協力いただける方を

ご紹介ください。授業中の児童の見守りをはじめとする、子どもたちの学習支援で資格は不要です。週に数時間程度の有償ボランティアです。

■お問い合わせは、コーディネーターのスギオ【cedartail@ozzio.jp】まで